

# 島根県子ども神楽 交流フェスティバル



県内の子ども神楽団体が神楽を上演し交流する「島根県子ども神楽交流フェスティバル」が開催されました。

1回目は「石見の国」として、7月30日に益田市のグラントワで開催され、322人の来場者がありました。2回目は「出雲の国」として、8月21日に雲南市のチェリヴァホールで開催され、478人が来場されました。



「石見の国」温泉子ども神楽の舞の様子



「石見の国」海潮中学校神楽部の舞の様子

雲南地域からは1回目の石見の国に、雲南市の「温泉子ども神楽」と「海潮中学校神楽部」が出演し、2回目の出雲の国に、雲南市の「深野神楽子ども教室」が出演し、神楽を上演しました。

舞台では、今まで練習を重ね、大人顔負けの熱演を演じる子供たちの姿に、客席から惜しみない拍手が送られていました。



「出雲の国」深野神楽子ども教室の舞の様子

## 島根県 ゆうきの里 雲南

# 「～だんだん・うんなん～フェア」を 開催しました!

9月11日(日)広島市中区基町地下街のシャレオ中央広場において、「島根県ゆうきの里雲南～だんだん・うんなん～フェア」を開催しました。

今回で4回目となるこのフェアは、雲南地域の認知度向上及び誘客促進を目的としたフェアです。

主催者である雲南広域連合を代表して影山喜文副管理者がステージに立ち、フェアを楽しみに来場した方々や駆けつけた在広島ふるさと応援団の皆様へ雲南地域の魅力をPRしました。

続いて、海潮山王寺神楽社中が演目「簸ノ川大蛇退治」を上演しました。この演目は、スサノノミコトがヤマタノオロチを退治する物語を題材にしたもので、神話に彩られた荘厳な舞に多くの方が足を止め見入っていました。

次に雲南市大東町からダイトレンジャー、飯南町からイソガシンジャーのヒーローショーを行いました。雲南地域でも大人気のショーですので、子ども連れのお客さんを中心に、たいへんな盛り上がりを見せていました。

そして、フェアに参加した雲南市、奥出雲町、飯南町、雲南広域連合の担当者が、この秋お薦めの旅行プラン・イベントをPRしました。雲南地域の美しい風景、豊かな自然に囲まれた観光地や魅力的な特産品が大型のプロジェクタに映し出され、来場者の目をくぎ付けにしていました。

また今年も、雲南地域から梅ピリサルサ、山椒番茶、舞茸、りんごなど特産品・旬の食材を持ち寄り、試食・販売をしました。お買物券が当たるガラポン抽選を実施していることもあって、一時はお客さんの長蛇の列ができ、会場が満員になるほどでした。



荘厳な舞に多くの方が魅了されました。



会場には多くの方がつめかけました。



大盛り上がりのヒーローショー。大東からダイトレンジャー。



子ども達に大人気。飯南町からイソガシンジャー。